

# 民生産業常任委員会研修視察報告書

1. 視察日程 平成28年10月12日(水)～10月14日(金)
2. 視察先 10月12日(水) 兵庫県 たつの市  
10月13日(木) 兵庫県 相生市  
10月14日(金) 兵庫県 高砂市
3. 参加者 委員長 須田 敏彦  
副委員長 河内 初光  
委員 金谷 勝美  
都丸 裕史  
津久井 明人  
森 昌彦  
事務局 中繁 尚之
4. 交通機関 公共交通機関
5. 視察結果 別紙のとおり

【視 察 先】 兵庫県たつの市

【視察事項】 認知症支援について

【たつの市の概要】

人口：78,382人

面積：210.87km<sup>2</sup>

たつの市は、南北に流れる自然と歴史が豊かな揖保川とともに発展し、瀬戸内海国立公園にも属し歴史的資源も豊富さを活かし、国民宿舎を利用して魅力ある自然・歴史資源を訪れるなど観光交流が行われています。

風土が生み出した手延べ素麺や醤油醸造、皮革産業、カバン産業など、地場産業が根付く一方で、ハイテク産業や電気産業も発展を続ける中、特色ある農業も盛んに取り組んでいます。

この地域は、古くから山陽道、筑紫大道、揖保川の水軍など交通の要とし、発展し、現在では、山陽自動車道、国道、JR山陽本線・姫新線など、交通軸が集中する地域です。また、中国横断自動車道姫路鳥取線も整備が進められており、広域的な交通機能を有する地域です。

また、21世紀の科学技術の発展を支える学術研究機能と優れた先端技術産業を中心に、快適な居住環境を備えた国際的な科学公園都市をめざして整備が進められています。

【認知症支援について】

- ①赤とんぼ連携ノート
- ②認知症生活べんり張
- ③いきいき百歳体操
- ④認知症・出前講座
- ⑤認知症サポーター
- ⑥認知症カフェ
- ⑦徘徊高齢者の見守りSOSネットワーク
- ⑧認知症初期集中支援チーム

## 【まとめ】

たつの市のきめ細かな「認知症支援対策」は、大変に参考になりました。特に、「赤とんぼ連携ノート」は、自分が認知症になったとき、自分のことを医師に正しく伝え、希望に合った医療や介護サービスを受けられるためのノートです。

本人、家族、かかりつけ医、認知症専門医、介護支援専門員（ケアマネージャー）、地域包括支援センター、訪問介護関係者が情報を共有し、連携をとりながら治療や介護を行うために活用します。

認知症になる前や認知症初期のうちに、緊急の連絡先や病院のこと、介護保険のことなど記入しておき、医療関係の受診、介護や生活の相談などの際に役立てています。

たつの市の高齢化率は、平成27年末で28.1%認知症者は、推計で3,800人とのことです。

大泉町も高齢化率は、平成28年8月末では、21%であり、認知症者支援対策の充実は喫緊の課題です。委員会として、8項目にわたる研修成果を踏まえ、実現に向け今後さらに調査研究していきます。

【視 察 先】 兵庫県相生市

【視察事項】 子育て応援施策「11の鍵」について

【相生市の概要】

人口：30,250人

面積：90.40km<sup>2</sup>

相生市は、兵庫県の南西部に位置し、姫路市へはJR山陽本線・山陽新幹線で東へ21km、神戸市へは76kmの距離にあります。

南は、瀬戸内海国定公園の一部を含み、北は播磨科学公園都市、西は、「赤穂浪士」で、名高い赤穂市に接し、海岸部から平地、山間部へと延びる南西に長い市域です。

造船業を中心とした工業都市として発展してきましたが、現在、社会変化に対応するまちづくりを展開し、産業・経済の基盤づくりをすすめています。

また、一年を通じ瀬戸内特有の穏やかな気候風土に恵まれ、公園など整備し観光施設として、「万葉公園」「羅漢の里」など市の伝統行事であるペーロンをテーマにした「白龍城（ペーロンジョウ）」があり、天然温泉などが楽しめます。

【11の鍵の概要について】

- ①新婚世帯家賃補助金交付事業
- ②定住者住宅取得奨励金交付事業
- ③マタニティータクシークーポン事業
- ④出産祝金支給事業
- ⑤乳幼児等・こども医療費助成事業
- ⑥子育て応援券交付事業
- ⑦保育料軽減事業
- ⑧私立幼稚園預かり保育事業
- ⑨給食費無料化事業
- ⑩相生っ子学び塾事業
- ⑪ワンピース・イングリッシュ事業

## 【まとめ】

相生市の最大の目的は、定住者の増加であり、住宅を新築または購入し定住する場所として相生市を選ぶ理由として、教育・子育て支援及び住宅取得助成のみではなく、住環境や交通の利便性などの要素も大きいと考えられます。よって、PRと継続が必要です。近年の社会経済状況の低迷による影響により財政状況についても、時代の流れとともに、変化しています。

本町でも少子高齢化は、喫緊の課題でもあり、相生市の「子育て応援施策11の鍵」は、大変に参考になりました。

本町の少子化率は、15歳未満人口5,872人で、年々低下し平成28年8月末現在14.1%です。

委員会として、研修視察の成果を踏まえ、実現に向け今後さらに調査研究していきます。

【視 察 先】 兵庫県高砂市

【視察事項】 高砂市にここポイント制度について

【高砂市の概要】

人口：93,101人

面積：2,708km<sup>2</sup>

高砂市は、「高砂やこの浦舟に帆をあげて・・・」と古くからめでたい謡曲「高砂」で知られ、兵庫県南部播磨平野の東に位置し、東に加古川が流れ、南に瀬戸内播磨灘を臨み、古くから白砂青松の風光明媚な立地です。

歴史も古く、日笠山・竜山など丘陵地には多くの遺跡が発見されており、原始・古代の人々の暮らしぶりを学ぶことができます。

また、古くから景勝の地であったため、多くの歌人たちにも愛され、多くの和歌が詠まれ万葉集など数々の歌集を賑わせています。

高砂の発展には、姫路城主・池田輝政公が加古川の流れを高砂に導いて、加古川舟運の河口港を開き、本田忠政公によって本格的な町づくりが進められ、加古川流域の物資の集散地になってから、米作りのほか製塩業や綿業、採石業など地場産業が発達し、盛んに行われました。

また、市内には高砂神社・生石神社・鹿島神社・曾根天満宮・十輪寺などの社寺や宝殿などの史跡も多く、市内各神社の祭り行事は、多くの参加者もあり観光地にもなっており、東播磨地域の中核都市として発展しています。

【高砂市にここポイント制度について】

高砂市は、イオンが発行する電子マネー「ご当地WAON」を活用した市独自のポイント制度を始めた。共通のカードを新たに作り、買い物でたまるWAONポイントとは別建てで、市の健康推進イベントなどへの参加でポイントを付与。地域の特産物が当たる抽選券と交換でき、名づけて「高砂にここポイント制度」地域イベントへの積極的な参加を促し、充実した市民生活を後押しする。マラソン大会などのスポーツイベントへの参加のほか、特定検診の受診にもポイントを与える。地元経済活性化を狙い、市内商店に端末を配備、来店ポイントがたまるようにもし、景品には、市の特産物など用意した。また、イオンと業務提携し、イオンから制度面での協力を得るほか、WAON利用金額の一部を寄付として受け、まちづくりに役立っている。

## 【まとめ】

「にこにこポイント制度」は、高砂市が「たかさご未来総合戦略」に基づき、市民の健康寿命の延伸、移住・定住対策、市政への参画促進、産業振興、文化・スポーツの活性化など、市民がいつでも、にこにこ笑顔で暮らせるまちづくりの実現をめざして始まった施策です。

様々な行事に参加することによりポイントが貰える制度です。

委員会としても、研修成果を踏まえ、実現に向け、今後さらに調査研究していきます。